

新学習指導要領に対応した学習評価 (中学校 音楽科)

文化庁

参事官（芸術文化担当）付教科調査官

文部科学省

初等中等教育局 教育課程課教科調査官

河合 紳和

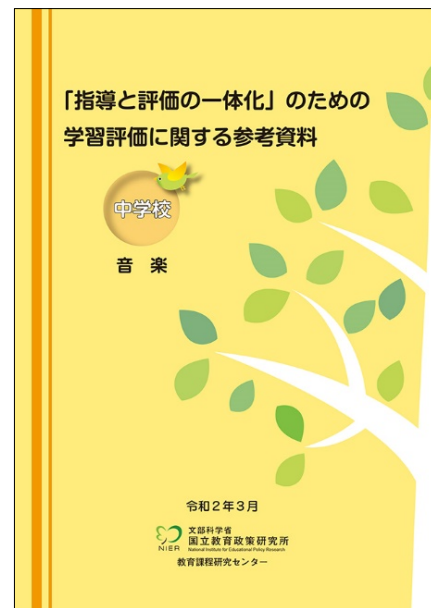
目次

- 1 新学習指導要領に対応した学習評価
- 2 学習評価の進め方
- 3 指導と評価の一体化のポイント
- 4 生徒への働きかけの具体例

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】



https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_ongak.pdf



学習評価

学習の成果を的確に捉え、

- ・ 教師が**指導の改善**を図る
- ・ 生徒が**学習を振り返り**、次の学習に向かうことができるようにする

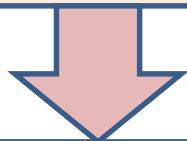
授業の改善

評価の改善

1 新学習指導要領に対応した学習評価

題材の構想と学習評価

育成を目指す資質・能力を評価と一体的に考えて題材を構想する

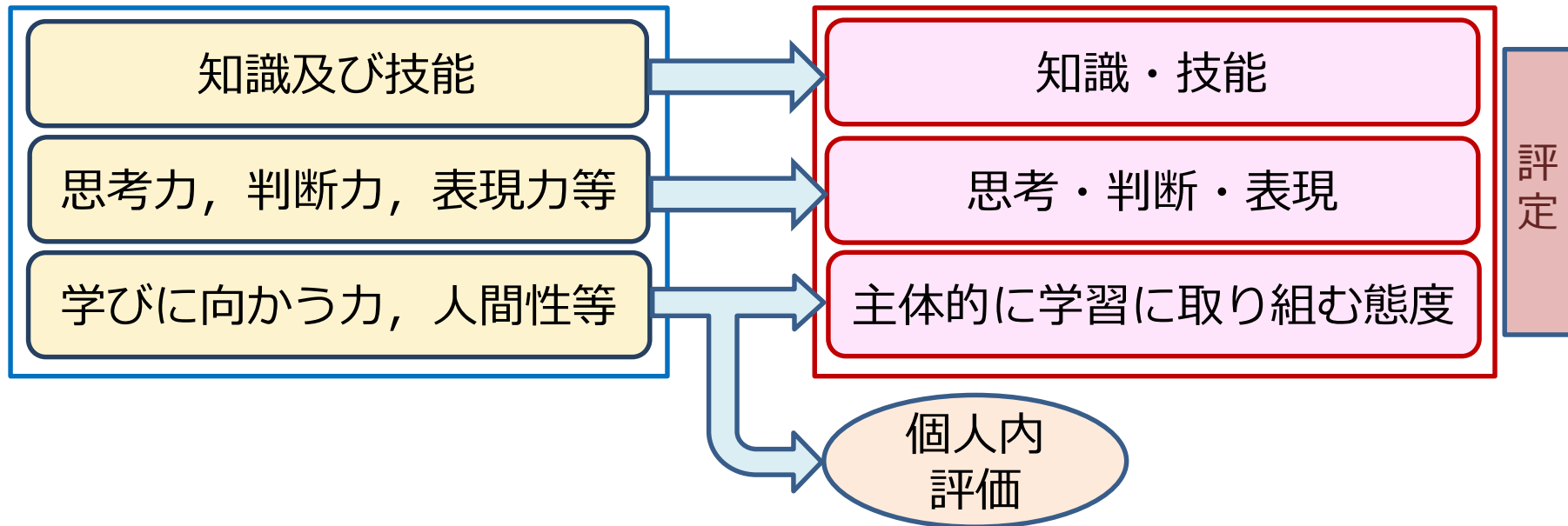


学習指導要領に示された教科・学年の目標、「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方等を踏まえて学習評価を行う

資質・能力の三つの柱と新しい評価の観点

育成を目指す資質・能力

評価の観点



主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」に係る各教科等の評価の観点の趣旨に照らし、

- ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、
- ②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面という二つの側面を評価することが求められる。

主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」に係る各教科等の評価の観点の趣旨に照らし、

- ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、
- ②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面という二つの側面を評価することが求められる。

自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面

内容のまとめ

中学校音楽科における内容のまとめ

[第1学年]

- | | | | | | |
|-------|-----|----|----|--------|-----|
| 「A表現」 | (1) | 歌唱 | 及び | 〔共通事項〕 | (1) |
| 「A表現」 | (2) | 器楽 | 及び | 〔共通事項〕 | (1) |
| 「A表現」 | (3) | 創作 | 及び | 〔共通事項〕 | (1) |
| 「B鑑賞」 | (1) | 鑑賞 | 及び | 〔共通事項〕 | (1) |

[第2学年及び第3学年]

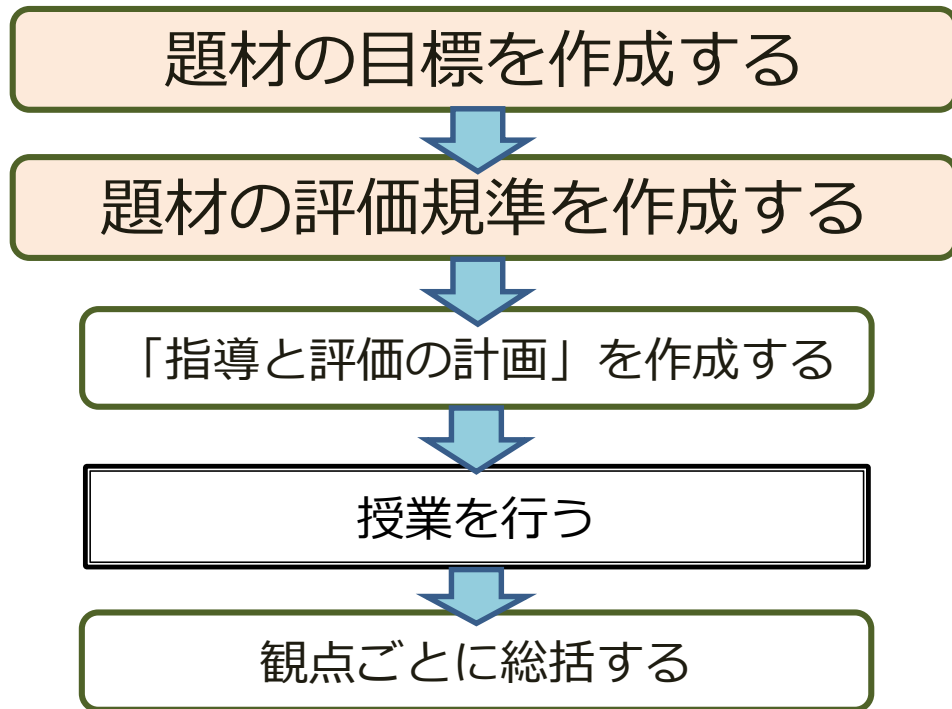
- | | | | | | |
|-------|-----|----|----|--------|-----|
| 「A表現」 | (1) | 歌唱 | 及び | 〔共通事項〕 | (1) |
| 「A表現」 | (2) | 器楽 | 及び | 〔共通事項〕 | (1) |
| 「A表現」 | (3) | 創作 | 及び | 〔共通事項〕 | (1) |
| 「B鑑賞」 | (1) | 鑑賞 | 及び | 〔共通事項〕 | (1) |

1 新学習指導要領に対応した学習評価

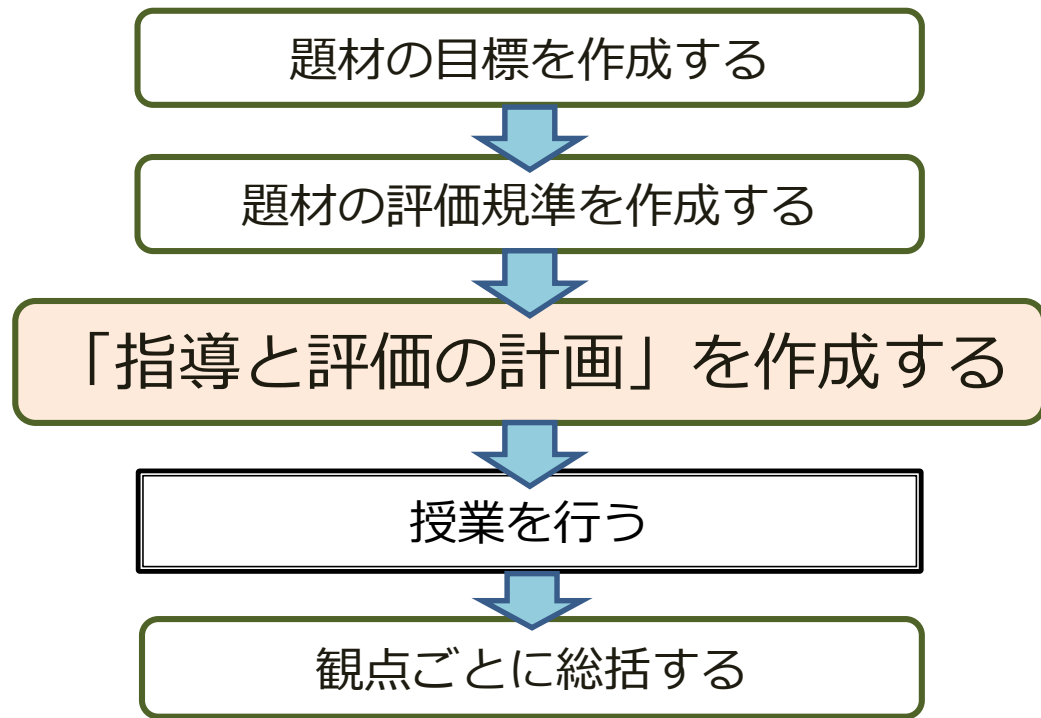
「内容」における事項の示し方

資質・能力	知識及び技能		思考力, 判断力, 表現力等
	知識	技能	
A表現	イ	ウ	ア
B鑑賞	イ	—	ア
〔共通事項〕	イ	—	ア

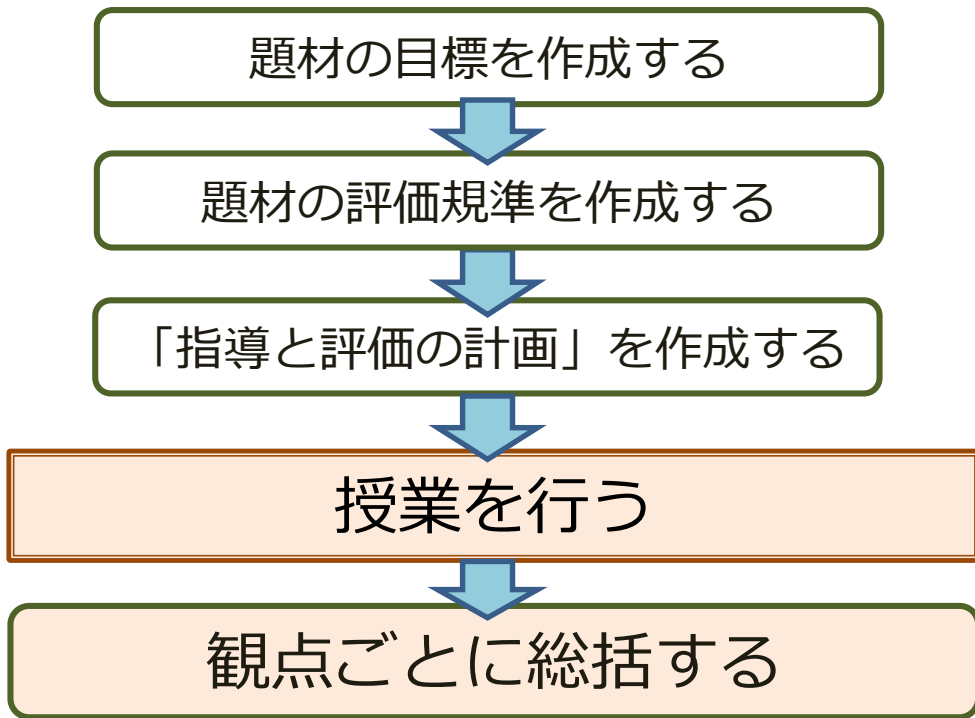
学習評価の進め方



学習評価の進め方



学習評価の進め方



題材の評価規準

知識

観点の趣旨 (第1学年)	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
評価規準 「A表現」	〔事項イの(ア), (イ)のいずれか又は両方〕について理解している。
評価規準 「B鑑賞」	〔事項イの(ア), (イ), (ウ)から一つ以上〕について理解している。

題材の評価規準

知識

例：第1学年「A表現」歌唱

【内容】イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり



【評価規準（例）】

曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。

題材の評価規準

技能

観点の趣旨 (第1学年)	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
評価規準 「A表現」	[事項ウの(ア), (イ)のいずれか又は両方] を身に付け、○○で表している。
評価規準 「B鑑賞」	設定しない

※ 「○○」には「歌唱」、「器楽」、「創作」のいずれかを選択して置き換える。

題材の評価規準

技能

例：第1学年「A表現」歌唱

【内容】ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能



【評価規準（例）】

創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付け，歌唱で表している。

題材の評価規準

思考・判断・表現

観点の趣旨
(第1学年)

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、**どのように表すかについて思いや意図をもったり**、**音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。**

①

②

③

評価規準「A表現」

① + ②

評価規準「B鑑賞」

① + ③

2 学習評価の進め方

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。

「思考・判断・表現」の観点の趣旨に位置付ける

イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。

「知識」の観点の趣旨には直接的には示さない

題材の評価規準

思考・判断・表現

評価規準（例） 「A表現」	〔観点の趣旨の①の部分〕について考え、どのように〇〇するかについて思いや意図をもっている。
評価規準（例） 「B鑑賞」	〔観点の趣旨の①の部分〕について考えるとともに、〔事項アの(ア)、(イ)、(ウ)のうち一つ以上〕について考え、よさや美しさを味わって聴いている。

※ 「〇〇するか」には「歌うか」、「演奏するか」、「音楽をつくるか」のいずれかを選択して置き換える。

題材の評価規準

思考・判断・表現

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、

【主な音楽を形づくっている要素】 旋律 強弱



旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、

題材の評価規準

思考・判断・表現

例：第1学年「A表現」歌唱

【内容】ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。

【主な音楽を形づくっている要素】旋律 強弱



【評価規準（例）】

旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

題材の評価規準

主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価規準 「A 表現」 「B 鑑賞」	[その題材において生徒に興味・関心をもたせたい事柄]に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に○○の学習活動に取り組もうとしている。

※「○○」には「歌唱」、「器楽」、「創作」、「鑑賞」のいずれかを選択して置き換える。

題材の評価規準

主体的に学習に取り組む態度

例：第1学年「A表現」歌唱

【興味・関心をもたせたい事柄】 旋律と歌詞のもつ言葉の抑揚との関係



【評価規準（例）】

旋律と歌詞のもつ言葉の抑揚との関係に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

3 「指導と評価の一体化」のポイント

1 評価の場面を精選する

日々の授業の中で生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置く



観点別の学習状況の評価は、単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現を把握できる段階で行うなど、その場面を精選することが重要

3 「指導と評価の一体化」のポイント

例：「題材全体の学習指導における評価の位置付けと回数」（【事例1】より）

題材全体の学習指導		評価の位置付け			
時	主な学習内容	評価の観点と主な評価の対象			評価の回数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	<ul style="list-style-type: none"> 「荒城の月」, 「早春賦」の歌詞の内容, 曲想などに関心をもつ。 				0
2	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚・感受し, 「荒城の月」を歌唱する。 				0
3	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を生かして, 「早春賦」の音楽表現を創意工夫する。 	知 曲想と音楽の構造等との関わりを理解	思 音楽を形づくっている要素の知覚・感受に基づく歌唱表現の創意工夫		2
4	<ul style="list-style-type: none"> 曲にふさわしい表現で主体的に「早春賦」を歌唱する。 題材全体の学習の振り返りをする。 	技 創意工夫を生かして歌う技能		態 学習活動に対する主体的・協働的な取組	2

3 「指導と評価の一体化」のポイント

2 評価方法を工夫する

各教科等の特質に応じて、多様な評価方法を適切に取り入れて評価を行う

音楽科では…

演奏，作品，ノート，ワークシート，発表やプレゼンテーション，グループでの話し合いでの発言，活動時の観察，自己評価や相互評価，ポートフォリオ…などが考えられる

例：＜教師用チェックシート＞（【事例2】より）

	取組状況			取組状況	
	粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子		粘り強く取り組んでいる様子	自己調整しようとしている様子
生徒1	○	○	生徒14		△
生徒2		他者の助言を聞き入れようとしていない	生徒15	ややあきらめがち	
生徒3	奏法を身に付けることに消極的	△	生徒16	○	△

- **第2時**では、全ての生徒について「粘り強く取り組もうとしているか」を観察し、＜教師用チェックシート＞に記録する。
- **第3時から第4時**では、「自らの学習を調整しようとしているか」を可能な範囲で観察し、＜教師用チェックシート＞に記録するとともに、ワークシートの記入状況と合わせて評価する。

3 「指導と評価の一体化」のポイント

- 3 生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を明確にする

その題材の学習内容を踏まえて適切に選択し、題材の評価規準の「思考・判断・表現」に位置付ける



- ・ 学習の内容を具体化する
- ・ 指導のねらいを明確にする
- ・ 指導の改善に生かしやすくする

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

- うまくできていることについては積極的に認めるとともに、難しさを感じていることについては生徒が無理なく取り組むことができるように助言をする。
- 工夫できそうなポイントに気付かせ、学習の進め方などについて見通しがもてるようにする。

「思考・判断・表現」の評価

- 生徒の状況に合わせてスモールステップで理解を促すようにする。
- 他者の意見や板書の内容を取り入れるなどの助言を与え、自分の考えが書けるように促す。

「知識・技能」の評価

- **実際に演奏しながら**，表したいイメージと関連付けられるような音の組み合わせ方を例示する。
- 前時までの学習を踏まえ，**音素材や音の重なり方などと自分の感じ方との関係性を想起できるようにする**。
- 友達の作品の特徴やよさを共有しながら，**自分の作品に生かせそうなことはないかを問う**などして，自分の作品の見直しを図ることができるよう支援する。

【事例4】：創作と鑑賞との関連を図った題材

生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を**共通に選択**し、評価規準に位置付けている。

複数の領域・分野の関連を図った題材を設定する場合における

- ・ 題材の目標の設定
- ・ 題材の評価規準の作成
- ・ 指導と評価の計画の作成
- ・ 観点別学習状況の評価の進め方

の参考例としても活用できる

新学習指導要領に対応した学習評価 (中学校 音楽科)

文化庁

参事官（芸術文化担当）付教科調査官

文部科学省

初等中等教育局 教育課程課教科調査官

河合 紳和